



# 大倉ふじお

通信 意見等ありましたら  
お気軽にご連絡下さい

2018年3月 第165号  
発行・会派「公明党」大倉富重雄  
成田市不動ヶ岡1984 22-3062

## 私の議会質問から

詳しくはこちらからご覧になれます▶

成田市議会中継

検索

平成30年3月議会は、2月23日に開会し、3月22日に閉会しました。私は、3月2日午前10時～11時まで農林水産業の振興など4項目について質問しました。要旨は以下の通りです。

### ① 農林水産業の振興 — 収入保険制度、多面的機能の維持・発揮、生産緑地法の改正



質問内容

公明党は、農林水産業の振興のため、農家の収入保険制度の創設、農業の多面的機能支払制度の創設、生産緑地制度の改善、等を提言し実現に向けて全力で取り組んできた。私は市内の農業青年と会い、意欲のある青年農業者が活躍できる環境整備を推進しなければならないと感じた。そこで、1. 農業経営の安定のため、農家の収入保険制度の見解は、2. 農業の多面的機能の維持・発揮の取り組みは、3. 生産緑地法の改正に伴う新制度の見解は、4. 農業振興の取り組みは、以上4点伺う。

答弁

- ①収入保険制度があれば、新しい作物の導入や、販路の拡大などに取り組み易くなるので、実施主体である農業共済組合や、JA、農業委員会等の関係組織と連携し、農家実行組合長会議等を通じて**本制度の周知に努めていく**。
- ②今後も国、県及び土地改良区などの農業関係団体と連携しながら、本事業のさらなる推進を図るとともに、この**多面的機能支払交付金の制度を最大限に活用**し、農村地域の活性化につなげてまいりたい。
- ③平成4年に生産緑地地区の当初決定を行い現在80地区、26.4ヘクタールを指定している。指定から30年後、多くの生産緑地が宅地化される事態が想定される。**新制度を平成30年度の早期に生産緑地の所有者に周知する**。
- ④人・農地プランの策定や国の農業次世代人材投資事業などを最大限に活用し、将来の地域農業の担い手となる意欲ある農業者はもとより、**若い世代の農業後継者や新規就農者の確保・育成に努めてまいりたい**。

再質問・  
要望した事項

- ☐収入保険制度と農業災害補償制度の周知を ☐収入保険制度を市HPで発信を ☐多面的機能支払交付金活用の本市の現状と見通しは
- ☐多面的機能の維持・発揮へ推進の考え方 ☐生産緑地法の2022年問題の見解は ☐生産緑地地区の指定の面積要件の考えは
- ☐農地の集積・集約化の促進目標の達成への取り組みは ☐農地利用の最適化のため農業委員と農地利用最適化推進員の連携は
- ☐国の農業次世代人材育成投資事業の活用状況は

### ② 新たな住宅セーフティネット制度 — 住宅確保要配慮者の現状、居住支援協議会



質問内容

住宅セーフティネット法は、2007年に制定され、2017年10月25日、改正住宅セーフティネット法が施行した。この法律が成立した背景には、公営住宅の入居が難しく、民間賃貸住宅では、入居を断られるケースもあり、住宅確保要配慮者の増加が社会問題化したからだ。この問題に対応するため、民間賃貸住宅や空き家を活用した新たな住宅セーフティネット制度が創設され、2018年度国の予算案の中にも関連予算が盛り込まれた。そこで、1.住宅確保要配慮者の現状認識は、2. 新たな住宅セーフティネット制度の活用は、3. 居住支援協議会への取り組む考えは、以上3点伺う。

答弁

- ①公的賃貸住宅ストックの有効活用や民間賃貸住宅を活用した**居住の安定確保に取り組むことが必要**との認識をしている。
- ②本年1月に、本市において**共同住宅用タイプの住宅1棟のうち3部屋が登録**された。
- ③本市の居住支援協議会の設立をはじめとした新たなセーフティネット制度は、平成31年度に策定を予定している**「第2次成田市住生活基本計画」の中で調査検討**していく。

再質問・  
要望した事項

セーフティネット制度の下、建物の利活用が生じる。空家バンクが設けられるとその情報によってはビジネスとしての空家の利活用があると思う。しかし、最近多くの事件・事故報道がある簡易宿泊所や民泊などへの建築用途の転用については、住宅確保要配慮者の利用に限らず十分検討するよう要望する。

### ③ 平和施策 — 「ねむの花に祈る」の活用、咸陽市との友好、平和講演会の実施を！



質問内容

2017年11月5日、成田市スカイタウンホールで成田市折り鶴平和使節団長崎訪問報告会に出席しました。原本：日暮淑さん、絵：四宮達雄さん、話文：三浦節子さん、による紙芝居「ねむの花に祈る」が披露されました。心に響く朗読で、多くの市民に見てもらいたいと思った。今回、核なき世界を目指して、ノーベル平和賞を受賞したICANフィン事務局長が長崎市で基調報告等を行ったが、こうした機会に本市でも更に平和啓発事業を推進していただきたい。そこで、平和啓発事業の拡充について、市の考え方を伺う。

答弁

紙芝居「ねむの花に祈る」を成田市平和啓発推進協議会が作成したことから、今後はこの紙芝居を**多くの方にご覧いただけるよう活用していく**。また、現在実施している平和映画の上映や原爆写真展などを、**新たに文化芸術センターでも実施**していく。次世代に平和の大切さを伝えていくことが肝要であるので、関係団体と協力しながら**平和啓発事業の充実を図っていく**。

再質問・要望した事項

- ☐平和施策が文化国際課に所管移行の理由は ☐中国・咸陽市との友好都市30年、イベント実施を
- ☐「ねむの花に祈る」の紙芝居の活用は ☐遺構調査は ☐平和講演会の実施を ☐平和啓発推進協議会

### ④ プログラミング教育 — ハード面では、ICT整備計画をもって計画的に推進を！



質問内容

次期学習指導要領で小学校でのプログラミング教育が盛り込まれた。全国に先駆けてプログラミング教育を平成29年4月から実施した柏市は、県内随一の充実を誇るICT環境と教育内容が柏市にはすでにそうした土壌が出来上がっているため、取り組むことができた。柏市のように特にハード面では、整備計画がないとプログラミング教育の推進が遅れることも考えられる。そこで、どのような取り組みを考えているのか、市の整備計画を伺う。

答弁

プログラミング教育用に新たに機器を整備するのではなく、既存の機器を活用しながらでも十分に対応できるものとする。**平成32年度からの全面実施に向けて、課題や効果の検証を進める**。

再質問・要望した事項

- ☐プログラミング教育の必要性和ねらいは ☐本市のICT環境の現状は、整備率は
- ☐プログラミング教育をどう教えるのか、指導方法は ☐先行実施の課題や効果の検証は